



香南市は企業の誘致と雇用対策に取り組んでいます。その中でも、市内に根付いた元気な立地企業に依頼し、会社の紹介をしていただきました。

株式会社 T. I. J かぶしがいいしゃ ティーアイジェイ



t.i.j 感動を創造する
Since 1996

本社 東京都港区三田2-14-5
工場 香南市香我美町下分1244-1
代表者 代表取締役社長 吉井洋之
社員数 33人
ホームページ <http://www.tij-inc.co.jp>

発泡スチロールで ものづくり

T. I. J は1996年にアメリカと日本の企業の合併会社、(株)トレッドウェイインダストリーズジャパンとして設立しました。

発泡スチロールを加工してモノを作るという、当時日本にはなかった技術をアメリカからいち早く導入し、人気アニメキャラクターや全国ネットのテレビセット、またテーマパークや多くの商業施設の内外装を手掛けています。

2007年12月、商業開発部門を新たに設け「株式会社 T. I. J」と社名を変更しました。現在は東京本社、大阪支社、高知工場を拠点に、全国各地に製品を出荷しています。

ドラえもんやキティちゃんのようなキャラクターや皆さんもよくご存じのテレビセットやテーマパークの外装などを作っているよ！
香南市では、ごめん・なはり線の各駅にあるキャラクターや無人島長平さんもT. I. Jで作ったんだよ！！



つくる過程



① 発泡スチロールを手で削る



② 発泡スチロールをコーティングし表面を強化する



③ スプレー・布・筆などを駆使し本物そっくり塗装

④ 完成！

皆さんもきっと、テレビや街角でT. I. Jの製品を見たことがあると思いますが、この工場ではどこにも売っていないオンリーワンの商品を作っています。だから社員は、毎日が新しいモノづくりへの挑戦です。そうそう、皆さんもよくご存じのビッグアーティストのコンサートセットなども作っているんですよ。発泡スチロールで作ることがメインですが、実は自社開発のコンクリートも製造しています。日本広しといえども、コンクリートで大型キャラクター造形が作れるのはここだけ。これからは全国に誇れるユニークな企業としてものづくりに取り組みたいと思います。



ジャパンフラワーフェスティバルで来高された高円宮妃殿下が、工場を視察されました。

制作課
山本晋裕さん

香南市の裁判員候補者は91人

県内では2,160人

裁判員候補者は有権者から選ばれ、香南市の場合は有権者27,542人の中から91人が無作為で抽出されます。

候補者として選ばれた人は裁判所において「裁判員候補者名簿」に登録され、年内に「通知・調査票」が送付されます。

「裁判員候補者名簿」の中から手順を踏んで裁判員として選ばれ、刑事裁判に参加し、裁判官と一緒に被告人が有罪か無罪か、どのような刑にするのかを決めていくことになります。それが、裁判員制度です。

もしもあなたが選ばれたら… 一つの事件に6人の裁判員

なぜ、専門家でない一般の人が刑事裁判に参加するのか。「裁判員」となることへの不安や負担、疑問をお持ちの方は少なくないでしょう。

しかし、事件の被害者や加害者と同じ社会に生きる人間として参加し、問題を共有して考えるという一人ひとりの意識こそが、みずかで信頼される司法の実現に必要なのです。ぜひ、ご理解ください。

あなたが選ばれるかもしれない。裁判員選任までの流れ

翌年の裁判員候補者を無作為で選び、名簿を作成します(10月ごろ)

裁判員候補者を抽出



香南市では91人が候補者として選ばれます

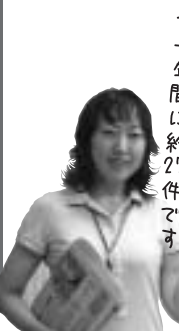
裁判員の候補者は、市町村の選挙人名簿から無作為で抽出されます。

その後、裁判所で「裁判員候補者名簿」に登録され、年内に「通知・調査票」が送付されます。辞退事由がある人は、調査票に記載し返送してください。(認められると「取消通知」が送付されます)名簿は1年ごとに作り直されます。

辞退が認められるケース
70歳以上・学生・重い病気や障害など

事件ごとに裁判員候補者が選ばれます(裁判の6~8週間前)

候補者名簿から選出



裁判員対象事件は平均約27件です

裁判員裁判の対象となる事件ごとに、「くじ」で候補者名簿の中から裁判員の候補者を選びます(一つの事件ごとに約100人)。

裁判の6~8週間前には「呼出状と質問状」を送付し、辞退事由の有無・理由を確認します。辞退が認められた人以外の候補者は、呼び出しの日に裁判所で面接を受けます。

辞退が認められるケース:妊娠・冠婚葬祭・自分の不在で事業に著しい損害の恐れがあるなど

裁判所で、候補者の中から裁判員を選ぶための手続きを行います(裁判当日の午前中)

裁判員となる人を決定



一人ひとりのベストを尽くせば大丈夫！

候補者は、裁判長から事件との利害関係の有無や辞退希望の理由などについての質問を受け、裁判所は辞退を認めるか、不適格事由に該当しないかなどを考慮します。最終的には「くじ」により、一つの事件について裁判員6人を決定します。

6人の裁判員が選任され、3人の裁判官と一緒に裁判を行います

出張説明会・裁判傍聴・ビデオテープ・DVDの貸出しなど、ご利用ください！

高知地方裁判所事務局総務課
☎ 088-822-0340

高知地方検察庁企画調査課
☎ 088-872-9191

裁判員制度が始まります

裁判が変わる。平成21年5月21日スタート！

裁判員制度は、国民の中から選ばれた裁判員が刑事裁判に参加する制度です。この制度では、全市町村から無作為で抽出した裁判員候補者の中から、裁判所が事件ごとに「くじ」による抽選で6人の裁判員を選任します。国民としての視点・感覚が、裁判の進め方やその内容に反映されるよう、皆さんの積極的な協力なくしては成り立たない制度です。